

株式会社アクタ

福岡県古賀市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

「もてなす想いをカタチに新たなシーンを演出します」をブランドアイデンティティとして商品開発を行う

- 食品容器を現地で組み立てる今までにない発想で、デパ地下等の保管スペースの課題を解決
- 海外市場において新たな需要を掘り起こすため、陶器のような質感を再現したプラスチック容器を開発
- 自由な発想が生まれる社風を承継し、伝統技術と最新技術を融合しながら積極的な新事業を展開

企業基本情報

所在地	福岡県古賀市鹿部 335-1
電話/FAX	092-943-3931/092-943-3981
URL	http://www.acta-web.co.jp/
代表者	代表取締役 柴田 伊智郎
設立	1955年
資本金	4,700万円
従業員数	150人



会社概要

伝統工芸である博多曲物に端を発するプラスチック製食品容器メーカー。高級弁当や惣菜などデパ地下で扱われるワンランク上の食品容器を製造。市場創造・価値創造を念頭に商品開発を行うなかで、独自の技術を用いた今までにない折箱で特許を取得したことをきっかけに、販路を大きく拡大。原料から製品までの一貫生産の強みを生かし、小ロットから大ロットまで対応が可能。

プラスチックの端材を利用した完全リサイクルボードや海外向け製品等、新たな事業を展開。

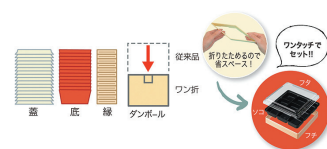


会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ ワンランク上のプラスチック容器の開発と積極的な新分野開拓

伝統技術と最新技術の融合を図りながら、リサイクルの可能性だけではなくスタイリッシュさを追求した、ワンランク上のプラスチック容器を製造。かさばりや輸送・保管コスト等、折箱容器の課題を、現地で組み立てるという今までにない発想で解決し、高級弁当等を扱う百貨店から多くの引き合いがある。また、有田焼きと連携したインバウンド向けの商品開発や、端材を活用した環境配慮型パネル「Reco ボード」の開発等、「市場創造、価値創造」を理念として常にチャレンジを行っている。



省スペースなワン折のイメージ

▶▶▶ 日本の食文化が浸透する海外市場で新たな需要を掘り起こし

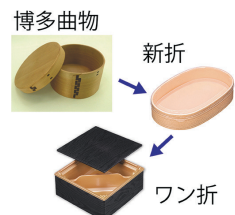
ヨーロッパにおいて、寿司等の日本の食文化が浸透する中、箸のニーズも高まっている。ヨーロッパでは、割り箸文化がなく、環境配慮に関心が高いため、スーパー等の寿司のパッケージに同封できる伸縮する箸「のびるくん」を開発。2020年の東京オリンピックを見据え、2015年から2019年の開発テーマを「和力-WAJIKARA-」と掲げ、インバウンド向けの期待に応える商品づくりに取り組んでいる。



陶器の質感を表現したプラスチック容器

▶▶▶ 伝統技術と最新技術を融合しながら新事業を展開

江戸期より代々伝統工芸である博多曲物の製造を営んでおり、1955年に会社を設立。駅弁向け容器の生産効率向上のために合成樹脂を用いた折箱を開発し、「新折」として特許取得。更に、使用される現場でワンタッチに組み立て可能な折箱を「ワン折」として特許取得。従来の折箱の概念を覆し大きく飛躍した。自由な発想が生まれる社風を承継しながら、容器製造技術を応用したリサイクルパネル「Reco ボード」等、食品容器以外の新たな事業にも取り組んでいる。



製品の変遷(曲げ物→合成樹脂折箱→ワン折)